

1. 2017年度の社会的背景

- 1) 2016年末の温室効果ガス削減に向けた「パリ協定」の発効や、電力小売自由化によるCO₂削減や再エネ、エネルギー問題に対する関心の高まり。
- 2) 廃棄物・リサイクル分野では、食品ロス削減国民運動など食品廃棄物への関心が高く、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進や適正処理の一層の向上が求められる。
- 3) 2015年9月、国連が2030年までに世界全体で取り組む「SDGs(持続可能な開発目標)」を全会一致で採択。これに呼応し、世界全体で持続可能な社会の実現に向けた取り組みが加速。

2. 2017年度方針

以下の年度方針のもと、新たな取り組みにチャレンジし、広く内外に情報発信していく。

- 〈方針1〉 事業活動から発生する直接・間接の環境負荷の低減
- 〈方針2〉 持続可能な地域社会を目指し、組合員や職員とともに環境活動を進める
- 〈方針3〉 SDGs(持続可能な開発目標)の枠組みに関する調査研究を進める

2016年度 環境マネジメント 目標・取り組み

部署	重点管理項目	取り組み	目標値	累計	評価
全体	CO ₂ 排出量(子会社含まず)	進捗管理のみ	97.3%	99.1%	×
	再生可能エネルギー比率	進捗管理のみ	-	54.7%	-
	食品リサイクル率[店舗] (リサイクル重量÷発生量)	進捗管理のみ	38.0%	33.5%	×
	食品リサイクル率[食品工場] (リサイクル重量÷発生量)	進捗管理のみ	96.4%	93.1%	×
	土づくりセンター回収量	進捗管理のみ	-	91.2%	-
	魚アラ回収量	進捗管理のみ	-	123.8%	-
全グループ店舗	事業所エネルギー使用量(電気・ガス)	①サーモ調整 ②省エネセルフチェックと運用改善	96.7%	98.6%	×
	店舗ごみ重量(袋数×平均重量)	雑がみ分別ルールの徹底	99.0%	93.8%	○
コープミニ	事業所エネルギー使用量(電気・ガス)	①サーモ調整 ②省エネセルフチェックと運用改善	97.0%	97.6%	×
	店舗ごみ重量(袋数×平均重量)	雑がみ分別ルールの徹底	99.0%	91.1%	○
宅配事業	燃費	①ふんわりアクセルの徹底 ②内気循環の徹底	101.0%	102.6%	○
	事業所エネルギー使用量(電気・ガス)	省エネセルフチェックと運用改善	99.1%	102.5%	×
	古紙めむ回収率	①地域担当ニュースへの記載 ②新規加入者への声かけ継続 ③折り込みチラシ	47.1%	47.2%	○
	内袋回収率(宅配全体)	①地域担当ニュースへの記載 ②新規加入者への声かけ継続 ③折り込みチラシ	13.2%	11.4%	×
	車両の燃料漏れ対応	①給油キャップ締め忘れ・注ぎ足し給油禁止 ②適切な応急対応	0件	5件	×
物流	配送1t・kmあたりエネルギー使用量	①記録と検証	99.0%	101.6%	×
	電気使用量	②セーフティレコーダーの活用	99.0%	98.6%	○
	ガス使用量(鳴尾浜DCのみ)	③アイドリングストップ検証	99.0%	93.5%	○
	燃料漏れ	①軽油スタンド管理状況報告 ②対応手順を教育	-	0件	-
土づくりセンター	汚水オーバーフロー防止	①内部汚水量の点検・報告 ②日報のチェック・緊急対応指示	-	問題なし	-
	悪臭の防止(クレーム0、協定基準値)	①臭気点検 ②ブロウ停止(7-16時) ③臭気測定と報告 ④緊急事態訓練	-	クレーム3件	-
商品検査センター	使用後の試薬の適正処理	①分別保管 ②マニフェスト管理	-	問題なし	-
	アセチレンガスの漏洩防止	高圧ガス管理マニュアルに沿って実施	-	問題なし	-
	排水中和槽の適正管理	pH処理装置管理マニュアル、 薬剤管理マニュアル(水濁法)に沿って管理	-	問題なし	-
	試薬の紛失・漏洩防止	「緊急時の措置について」に沿って実施	-	問題なし	-
食品工場	電気使用量	①ロス削減活動によるエネルギーの削減 ②照明設備の省エネ機器導入 ③蒸気漏れ箇所の迅速な改修 ④冷蔵・冷凍庫・冷暖房の温度管理および設備対策の実施 ⑤省エネ活動によるCO ₂ 排出削減 ⑥配送車の燃費改善活動で燃料削減	99.0%	100.7%	×
	都市ガス使用量		103.8%	106.4%	×
	軽油使用量		100.0%	91.4%	○
	水使用量	①ボールタップの定期点検 ②清掃時の節水 ③配管腐食に伴う水漏れ及び蒸気漏れの迅速な改修 ④ロス削減活動による使用量削減	99.0%	95.5%	○
	生ごみ量	①分別の徹底 ②オペミスによるロス削減 ③出荷残ロスの削減 ④食り法⇒リサイクル率98%の維持	98.4%	93.3%	○
	プラスチックごみ量	①分別の強化 ②計量ミス撤廃	99.9%	93.2%	○
	自主基準BOD200ppm以下	①節水活動による排水負荷の低減 ②雨水排水の管理→海上汚染防止→緊急時対応周知徹底	-	問題なし	-
	薬品など有害物質による汚染の防止	①薬品の商品混入防止→運用・管理の強化、 薬品混入時対応→運用の周知徹底 ②廃油・おからの海上流出の防止と流出時の対応の徹底 ③法規制項目の運用管理強化	-	問題なし	-

評価 ○=目標達成 ×=目標未達and前年より悪化

2017年度環境マネジメントシステム 目標・取り組み

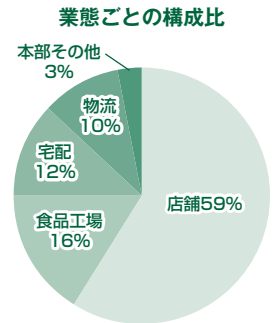
部署	重点管理項目	取り組み	目標値
全体	CO ₂ 排出量(子会社含まず)	進捗管理	98.8%
	再生可能エネルギー比率	進捗管理	-
	食品リサイクル率[店舗] (リサイクル重量÷発生量)	進捗管理	前年+2%
	食品リサイクル率[食品工場] (リサイクル重量÷発生量)	進捗管理	前年維持
	土づくりセンター回収量	進捗管理	-
	魚アラ回収量	進捗管理	-
全グループ店舗	事業所エネルギー使用量(電気・ガス)	①サーモ調整 ②省エネセルフチェックと運用改善	99.0%
	店舗ごみ重量(袋数×平均重量)	雑がみ分別ルールの徹底	99.0%
コープミニ	事業所エネルギー使用量(電気・ガス)	①サーモ調整 ②省エネセルフチェックと運用改善	99.0%
	店舗ごみ重量(袋数×平均重量)	雑がみ分別ルールの徹底	99.0%
宅配事業	燃費	①ふんわりアクセルの徹底 ②内気循環の徹底	101.0%
	事業所エネルギー使用量(電気・ガス)	省エネセルフチェックと運用改善	99.0%
	古紙めーむ回収率	①地域担当ニュースへの記載 ②新規加入者への声かけ継続 ③折り込みチラシ	前年+2%
	内袋回収率(宅配全体)	①地域担当ニュースへの記載 ②新規加入者への声かけ継続 ③折り込みチラシ	前年+1%
	車両の燃料漏れ対応	①給油キャップ締め忘れ・注ぎ足し給油禁止 ②適切な応急対応	-
物流	配送1t・kmあたりエネルギー使用量	①記録と検証 ②セーフティレコーダーの活用 ③アイドリングストップ検証	100.0%
	電気使用量	①消灯チェック ②記録と検証	100.0%
	ガス使用量(鳴尾浜DCのみ)	①設定温度の点検・巡回 ②空調フィルタの清掃	100.0%
	燃料漏れ	①軽油スタンド管理状況報告 ②対応手順を教育	-
	マニフェスト管理	手順の教育	-
土づくりセンター	汚水オーバーフロー防止	①内部汚水量の点検・報告 ②日報のチェック・緊急対応指示	-
	悪臭の防止(クレーム0、協定基準値)	①臭気点検 ②プロフ停止(7-16時) ③臭気測定と報告 ④緊急事態訓練	-
商品検査センター	使用後の試薬の適正処理	①分別保管 ②マニフェスト管理	-
	アセチレンガスの漏洩防止	高圧ガス管理マニュアルに沿って実施	-
	排水中和槽の適正管理	pH処理装置管理マニュアル、薬剤管理マニュアル(水濁法)に沿って管理	-
	試薬の紛失・漏洩防止	「緊急時の措置について」に沿って実施	-
食品工場	電気使用量	①ロス削減活動によるエネルギーの削減 ②照明設備の省エネ機器導入 ③蒸気漏れ箇所の迅速な改修 ④冷蔵・冷凍庫・冷暖房の温度管理および設備対策の実施 ⑤省エネ活動によるCO ₂ 排出削減 ⑥配送車の燃費改善活動で燃料削減 ⑦7階事務所系統エアコン更新(GHP→EHP)4月予定	99.7%
	都市ガス使用量		99.0%
	軽油使用量		99.1%
	水使用量	①ボールタップの定期点検 ②清掃時の節水 ③配管腐食に伴う水漏れ及び蒸気漏れの迅速な改修 ④ロス削減活動による使用量削減	99.0%
	生ごみ量	①分別の徹底 ②オベミスによるロス削減 ③出荷残ロスの削減 ④食リ法⇒リサイクル率98%の維持	95.2%
	プラスチックごみ量	①分別の強化 ②計量ミス撤廃	97.8%
	自主基準BOD200ppm以下	①節水活動による排水負荷の低減 ②雨水排水の管理→海上汚染防止→緊急時対応周知徹底	-
	薬品など有害物質による汚染の防止	①薬品の商品混入防止→運用・管理の強化、薬品混入時対応→運用の周知徹底 ②廃油・おからの海上流出の防止と流出時の対応の徹底 ③法規制項目の運用管理強化	-

※コープこうべは全国の生協とともに2002年度を基準としたCO₂削減の自主行動計画を策定しています。

1.2016年度 CO₂排出量

計画比**99.1%**と、ほぼ計画通り推移。

	業態	2015	2016	2016/2015 前年比	2016-2015 前年差	2016 計画比
省エネ設備の入れ替え (空調機、LED照明、冷ケースなど)	店舗	53,129	52,308	98.5%	-821	101.8%
各種設備更新(排気・照明機器など)	食品工場	14,407	14,198	98.6%	-209	103.7%
①車両更新による燃費向上 ②訪問軒数増加の影響で 車両燃料増加	宅配	10,802	10,822	100.2%	20	101.1%
鳴尾浜農産センター等の LED照明導入	物流	8,956	8,895	99.3%	-61	99.4%
	本部その他	2,494	2,747	110.1%	253	105.0%
	コープこうべ小計	89,788	88,970	99.1%	-818	101.8%
	子会社	11,051	11,094	100.4%	43	108.8%
	グループ合計	100,839	100,064	99.2%	-775	102.6%



※単位：t-CO₂
 ※電気1kwあたりのCO₂排出係数
 「0.423kg」で計算

2.2017年度 CO₂削減計画

前年比**98.8%**と削減がすすむ計画。

〈業態ごとの計画〉

業態	2016	2017計画	2017-2016	2017/2016	おもな増減の要因
店舗	52,308	51,349	-959	98.2%	【減】設備更新(冷ケース、空調、LED)
食品工場	14,198	14,197	-1	100.0%	【減】設備更新(空調、照明)
宅配	10,822	10,748	-74	99.3%	【減】設備更新/車両更新(約100台) 【増】訪問件数増加
物流	8,895	8,900	5	100.1%	【増】古紙プレス機稼働
本部その他	2,747	2,726	-21	99.2%	【減】車両更新(約20台)
コープこうべ小計	88,970	87,920	-1,050	98.8%	
子会社	11,094	10,939	-155	98.6%	【減】設備更新
グループ合計	100,064	98,859	-1,205	98.8%	

※電気の排出係数は0.423kg-CO₂を使用(日本生協連の手引きによる)

太陽光発電の取り組み



<http://eco.coop-kobe.net/renewable/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

コープこうべグループが進める太陽光発電所一覧

	太陽光発電所	所在地	運転開始	出力規模 (kW)	年間予想発電量 (kWh)	世帯数換算(※) (世帯)
1	鳴尾浜	兵庫県西宮市	2013年 9月	825.3	833,770	231
2	稲美	兵庫県加古郡稲美町	2013年 9月	150.9	154,350	43
3	北神戸	兵庫県神戸市北区	2013年11月	258.0	259,833	72
4	姫路東	兵庫県姫路市	2013年11月	309.6	311,141	86
5	氷上	兵庫県丹波市	2014年 3月	305.3	292,280	81
6	高槻	大阪府高槻市	2014年 6月	257.0	254,131	71
7	三木三津田	兵庫県三木市	2014年 9月	2,590.0	2,494,904	693
8	あこや学園	兵庫県尼崎市	2015年 6月	26.4	28,355	8
9	西播磨	兵庫県たつの市	2015年 6月	508.1	611,171	170
10	神吉	兵庫県加古川市	2015年 6月	50.8	57,802	16
11	魚住	兵庫県明石市	2016年 2月	360.6	370,990	103
12	須磨	兵庫県神戸市須磨区	2016年 3月	234.5	238,693	66
13	尼崎	兵庫県尼崎市	2016年 3月	217.0	220,880	61
14	丹波	兵庫県篠山市	2016年 3月	175.0	179,485	46
15	大王丹波	兵庫県丹波市	2016年 7月	501.2	535,679	148
16	箕面	大阪府茨木市	2016年 9月	178.5	179,485	49
17	淡路	兵庫県南淡路市	2016年12月	60.0	62,135	17
18	川西	兵庫県川西市	2017年 3月	50.0	48,226	13
	合計			7,058.2	7,133,310	1,974

(※)一般家庭の年間消費電力量を1世帯あたり3,600kWhとして算出

3Rの推進【リサイクル】



<http://eco.coop-kobe.net/recycle/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

コープこうべの組合員からの回収量

(単位: kg)

回収品目	回収業態		2012	2013	2014	2015	2016
	店舗	宅配					
紙パック	○	○	379,216	359,413	329,933	324,458	320,420
飲料缶	○		329,060	325,131	293,795	281,140	258,441
発泡トレイ	○		220,851	203,645	187,959	183,913	171,359
ペットボトル	○		601,400	575,720	533,640	499,187	502,106
ペットボトルキャップ	○		-	-	-	-	28,195
透明トレイ・卵パック	○		104,449	109,606	108,686	113,275	116,975
卵パック		○	33,741	28,888	29,601	35,073	38,302
めーむ		○	5,077,418	5,085,350	5,429,221	6,315,724	6,614,308
内袋・帳票袋		○	84,264	80,879	80,724	87,650	83,767

食品リサイクルの取り組み

2016年度

①リサイクル量		2,207.3t
店舗	野菜・肉の加工くず堆肥化 (コープ土づくりセンター)	524.5t
	肉の加工くず飼料化(外部委託)	19.0t
	魚アラの飼料化(外部委託)	288.4t
食品工場	バイオマス発電への投入	503.8t
	パン耳等の飼料化	183.0t
	おからの乾燥・飼料化	579.8t
	おからの乾燥(水分量)	1,570.8t
	廃食油の燃料・熱回収	53.9t
	製造くずの堆肥化 (コープ土づくりセンター)	54.8t
②食品廃棄物の廃棄量		1,925.8t
リサイクル率 ①÷(①+②)		66.2%
食品リサイクル法上の再生利用等実施率		76.0%

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

1. コープ土づくりセンターでのリサイクルについて

神戸・三木・明石・芦屋市内の36店舗から野菜と肉の加工くずを、また食品工場から製造くず(めんなど)を回収しています。回収した加工くずは、三木市にあるコープ土づくりセンターで、堆肥製造の原料として活用されています。製造された堆肥は、土づくりセンターに隣接する(有)みずほ協同農園で使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗で供給されています。

2. 食品工場でのリサイクルについて

- ①豆腐製造の際に発生する生おからを乾燥し、飼料の原料として売却しています。この乾燥させる工程に必要な熱源として、工場で発生する廃食油を利用しています。
- ②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。
- ③製造過程で発生する一部の製造くず(めんなど)を、堆肥化しています(コープ土づくりセンター)。

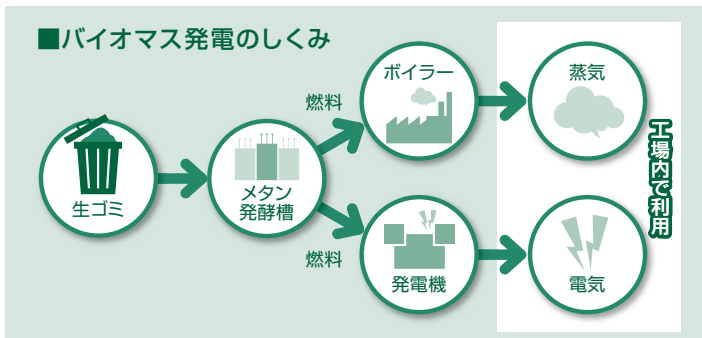
六甲アイランド食品工場のバイオマス発電

パンや豆腐などを製造する六甲アイランド食品工場では、おから乾燥設備やメタン発酵を活用し、食品廃棄物をリサイクルしています。



バイオマス発電

■バイオマス発電のしくみ





※URLをクリックすると関連情報が表示されます

1. マイバッグ運動の成果

		2012	2013	2014	2015	2016
持参率	%	86.2	86.5	86.7	87.0	86.9
節約枚数	枚	79,522,651	77,005,401	74,314,847	74,516,790	72,895,804
原油節約量(200ℓのドラム缶に換算)	本	7,515	7,277	7,023	7,041	6,889

※2011年度4月より大阪北生協と合併し、マイバッグ運動の違いからコープこうべ全体で持参率が86.0%になりました。

※2011年度の持参率は、こうべ地区(1~6地区)90.4%、大阪北地区39.1%

※2017年4月エリア改編より兵庫県下(旧こうべ地区)は6地区から7地区体制になりました。

2. レジ袋代金とエコシール寄付金の使途

(第1地区~第6地区)

2016年度に活用したレジ袋代金 36,879,251円	
2016年に活用したレジ袋代金の内訳は、下記とおりです。	
項目	金額
①コープの森・社家郷山(しゃげごうやま)において、多様な生き物を育む豊かな森づくりのための整備活動と、山とくらしのつながりの体験学習をすすめています。	6,007,815円
②エコファームや産地での体験学習を通して、食べ物の生産現場、生産する人、それを支える生産環境と、私たちのくらしとの関わり気づく学習活動をすすめています。	3,814,915円
③地球温暖化防止に向けて、くらしの中でエネルギーを適切に選び、使うことのたいせつさに気づく学習活動をすすめています。	587,078円
④コープ甲子園口 壁面緑化作業の定期管理に活用しています。	363,960円
⑤容器包装のリサイクルに必要な費用の一部に充当しています。	2,6105,483円

※第1地区~第6地区では、レジ袋が必要な場合、1枚5円をお支払いいただいています。

(大阪北地区)

2016年度に活用したエコシールの寄付金 934,023円	
2016年に活用したエコシール寄付金の内訳は、下記の通りです。	
項目	金額
環境分野「小・中学校にエコベンチ15台を寄贈」	426,600円
福祉分野「7カ所の福祉施設に10万円を上限に備品を寄贈」	507,423円

※大阪北地区では、マイバッグをお持ちいただいた方にエコシールをお渡しし、エコシール20枚につき、100円分を「環境分野と福祉分野への寄付金への積み立て」あるいは「お買い上げ金額からの値引き」のいずれかを選んでいただくことができます。

3. 行政や消費者団体とのレジ袋削減協定

	行政区名	締結年月日	三者協定締結日	他社	協 定 名
1	神戸市	2006年12月27日	2007年12月22日 (2011年12月22日更新)	●	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
2	西脇市	2007年3月13日			マイバッグ運動の取り組みに関する協定
3	三木市	2007年3月29日	2009年1月16日 (2009年1月16日更新)	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
4	明石市	2007年5月22日	2011年11月25日	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
5	豊岡市	2007年5月25日			レジ袋削減の取り組みに関する協定
6	姫路市	2007年5月29日	2008年9月1日	●	姫路市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
7	相生市	2007年5月30日	2008年7月20日	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
8	芦屋市	2007年5月31日			レジ袋削減に向けたマイバッグ運動の取り組みに関する協定
9	西宮市	2007年6月25日	2011年3月24日 (2015年4月1日更新)	●	西宮市レジ袋の削減等に関する協定
10	丹波市	2007年7月10日			レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
11	稲美町	2007年7月12日	2016年6月3日		稲美町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
12	三田市	2007年8月24日	2008年12月15日	●	三田市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
13	加古川市	2008年1月26日	2008年1月26日 (2015年11月17日更新)	●	加古川市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
14	上郡町	2008年3月3日	同左	●	マイバッグ持参運動推進の取り組みに関する協定
15	豊中市(大阪府)	2008年4月13日	2008年4月13日 (2016年2月23日更新)	●	豊中市におけるマイバッグ持参促進及びレジ袋の削減に関する協定
16	たつの市	2008年8月8日	同左	●	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
17	尼崎市	2008年10月3日	同左 (2015年2月19日更新)	●	尼崎市におけるレジ袋削減等に関する環境協定
18	加西市	2009年8月24日	同左	●	加西市におけるレジ袋削減等に向けた取り組みに関する協定
19	吹田市(大阪府)	2009年10月2日	2009年10月2日 (2014年4月1日更新)	●	吹田市におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減に関する協定
20	宝塚市	2011年4月13日	2011年4月13日	●	レジ袋の削減等に関する協定
21	播磨町	2016年2月19日	同左	●	播磨町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定

2017年3月31日現在締結自治体数：18市3町

環境学習／くらしの見直し

【コープの森・社家郷山での森林整備・学習活動】



<http://eco.coop-kobe.net/forest/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

1. コープの森・社家郷山での活動参加人数

	2012	2013	2014	2015	2016
合計	人 810	1,120	1,503	1,473	1,529
組合員・市民	人 480	778	1,219	1,115	1,270
職員・スタッフ など	人 330	342	284	358	259

※行政や他企業主催の社家郷山フィールドでの学習・活動への参加人数も含むため、下表の活動人数の合計とは一致しません。

区分	月日	内容	活動人数	
組合員向け学習イベント	エコひろば ～食・くらしと環境とのつながりに 気づく導入プログラム	2月11日(土・祝)	社家郷山の生きもの探検隊②～鳥のプチ博士になろう!	17
		2月18日(土)	防災ウォーク	18
	遊ぼう屋 ～食農、循環、生物多様性を学ぶ ステップアップ・プログラム	4月29日(金・祝)	下草刈りとバーベキュー	27
		7月18日(月・祝)	山仕事プチ体験&BBQ	39
		7月31日(日)	社家郷山の生きもの探検隊①：里山昆虫ウォッチングと生物調査	34
		11月3日(木・祝)	食べものは山のめぐみで育つ!?～秋の甲山野菜収穫	31
		11月12日(土)	社家郷山の自然満喫～木こり体験と山・海の恵みランチ	30
		11月23日(水・祝)	社家郷山でやまもり体験 森林整備&野外調理	19
		12月3日(土)	のんびり落ち葉かきと焼き芋体験①	42
		12月4日(日)	のんびり落ち葉かきと焼き芋体験②	53
たべものくらしのつながり 探り隊in海・里・山 ～山から海への生態系の循環、くらし と自然環境とのつながりを海、農地、 山で体験的に学ぶプログラム	9月24日(土)	芋ほり、水路ハイキング	20	
	10月30日(日)	野外調理、整備体験	19	
ボランティア育成	にしのみや都市型里山 ボランティア育成セミナー ～社家郷山・甲山周辺の保全整備を 支えるボランティア育成	5月15日(日)	<共通コース：第1回> 講義：生物多様性保全と都市近郊の里山の役割、フィールドワーク：活動地の現状把握	50
		9月17日(土)	<里山仕事コース：第1回> フィールドワーク：植物観察と植生調査、実技：森林整備基礎(初級編)	41
		10月1日(土)	<里山仕事コース：第2回> 実技：森林整備基礎(応用編)、機械を使用した整備	36
ボランティア定例活動	都市型里山ボランティアによる 里山の保全・整備活動 ※印：職員ボランティアとの合同活動	4月9日(土)	四季の道集積木運搬・整理	12
		5月7日(土)	ハイキング道階段補修	13
		6月22日(水)	四季の道巡回作業・枝打ち	9
		9月3日(土)	9/17セミナー事前準備・打合せ、四季の道除伐	12
		9月21日(水)	10/1セミナー事前準備・打合せ、四季の道除伐作業	19
		10月19日(水)	四季の道整備	9
		12月17日(土)	もみじ谷周辺整備	12
		2月22日(水)	四季の道・ネコヤナギの池周りの整備	14
		3月20日(月)	ボランティア交流会、在来種苗植え	40
		4月10日(日)	コバミツエリア整備	13
	職員ボランティアによる 里山の保全・整備活動	5月22日(日)	四季の道周辺常緑除伐	7
		7月10日(日) ～11日(月)	コープキャンプ(学習・交流・整備活動)	35
		7月24日(日)	在来種植栽エリア草刈り	4
		8月28日(日)	在来種植栽エリア草刈り	7
		9月11日(日)	学びのパネル学習、えん堤付近草刈り	9
		10月16日(日)	いこいのひろば枝打ち・草刈り	5
		11月7日(月)	落ち葉かき、ボランティア交流	37
		12月18日(日)	コバミツひろば奥エリアの整備	6
		1月22日(日)	櫻が峰ハイキング道入り口、えん堤奥エリアの整備	9
		2月19日(日)	コバミツ広場奥エリアの整備	9
3月19日(日)	ネコヤナギの池周辺草刈り	10		
その他	4月12日(火)～11月 28日(月)の期間に9回	訪花昆虫調査、希少種生育状況調査、植物相補足調査、植生追跡調査など	のべ16	
	6月7～9日、 2月1～3日	枯マツ伐木、シダ刈払い、クスノキ・ソヨゴ伐木、伐木整理(兵庫県森林組合連合会)	のべ26	
	9月2日(金)	森林山村多面的機能発揮対策交付金現地視察	5	
地区や地域で企画した イベント・学習活動	4月24日(日)	レンジャーくらぶイベント「春の社家郷山を歩こう」	9	
	5月22日(日)	レンジャーくらぶイベント「見に行こうよ!コバノミツバツツジ」	12	
	10月16日(日)	レンジャーくらぶイベント「しゃげごうやまハイキング初秋の里山を楽しもう」	16	
	11月13日(日)	レンジャーくらぶイベント「色付き始めた秋のしゃげごうやまに登ろう」	9	



1. 助成団体および助成総額

		2012	2013	2014	2015	2016
助成団体	団体	20	20	24	21	19
助成総額	千円	2,850	2,800	3,000	2,680	2,570
信託財産残高	円	377,549,732	375,558,879	374,227,860	372,202,486	370,852,321

2. 2016年度の助成団体

■自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門・・・該当なし

■自然環境保護および啓発の実践活動部門・・・29団体(総額257万円) ★:2016年度にはじめて助成を受けた団体。

	団体名	活動内容／助成対象
1	田君川バイカモ保存会	田君川(新温泉町)に群生するバイカモ(梅花藻)の保全に向け、周辺の除草活動及び小学校の自然体験学習などを受入れ。 *除草資材、バイカモ祭備品の一部に活用。
2	宝塚エコネット	宝塚市にある松尾湿原の再生・保全のための間伐・草刈・落ち葉かき、植生・昆虫生息調査や親子保全活動体験の実施。 *講師謝金、パンフ印刷費等に活用。
3	よこおみち森のり会	神戸市須磨区横尾地区…野路菊育成、低木植栽、雑木林・竹ヤブ整備、友が丘地区…竹林道保全、植栽用つじを育苗。 *整備用具、土の購入、パンフ印刷代などに使用。
4	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	高砂海浜公園海辺の「アオサ」を回収し、堆肥化。市民参画と循環の学習の場として、干潟の生物調査、地引網漁体験などを行う。 *アオサ回収用具、講師料、漁業体験料等に活用。
5	須磨ふるさと生き物サポータ	神戸市須磨区旧市街地地域の在来生物保全と外来種駆除、須磨多間線高架道路建設予定地に生息するマツムシ保全。 *標本製作、飼育・採集、森林整備用具に活用。
6	★いたやにすと	神戸市須磨区板宿で、人々が集う「街山」づくりに向けた除草等整備と植栽イベントの開催。 *草刈機本体替刃、植樹用プレート資材、ポスター作成等に充当。
7	六甲山を活用する会	六甲山の里山再生モデル地域の啓発拠点「まちっ子の森」整備、アセビ伐採による森林再生状況を調査、検証を行う。 *調査関連用具、講師謝金、教材作成に活用。
8	身近な自然とまちを考える会	川西市黒川地区の休耕田に環境学習のための「トンボ池」を整備。市内小学校の里山体験学習支援を行う。 *観察回廊整備資材・案内板、観察・調査備品に使用。
9	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地である八幡高原で、幼虫の食草であるオミナエシの植栽、幼虫の飼育・放蝶及び生息地の草刈り、シカ害対策を行う。 *シカ柵・飼育ゲージ資材、種・苗代に使用。
10	兵庫丹波オオムラサキの会	オオムラサキ舞う里山づくりに向け、越冬幼虫の探索と分布のマップ化、生育環境の検証、及び学校の環境学習支援を行う。 *飼育ゲージ資材、標本作成等に使用。
11	あいな野草くらぶ	神戸市北区で、里山の再生により希少化する植物の保全、及び野草自生地の除草、採取種子の播種・移植を実施。 *肥料、整備用具、花の標識資材費等に活用。
12	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウ保護のため、自生地のつたや障害樹木の伐採及び生育状況の定点観察、周辺植生調査を実施。 *遊歩道の整備資材、講師謝金、参考図書購入等に使用。
13	★自然と文化の森協会	兵庫県21世紀の森づくりに種子を提供する猪名川自然林の保全活動、図鑑・クラフトづくり講座による身近な自然の啓発活動を行う。 *肥料、講師謝金等に使用。
14	丹波地域のホトケドジョウを守る会	ホトケドジョウ保全を目的にモニタリング調査、堆積土砂除去など生息地の環境整備、及び近隣の生息地を探索。 *検査試薬、生息地補修備品、図書購入に利用。
15	武庫川流域圏ネットワーク	安全・安心で魅力ある武庫川づくりをめざし、河川清掃活動&学習、外来植物駆除、流域で活動する他団体との交流会を行う。 *河川清掃用具、講師謝金、パンフ類印刷等に活用。
16	東お多福山草原保全・再生研究会	六甲山系のススキ草原の再生・維持管理のための地上植物刈取り、調査による効果検証、生物多様性ガイド養成講座の実施。 *整備用具消耗品・燃料等に利用。
17	NPO法人 たつの・赤トンボを増やそう会	童謡「赤とんぼ」に歌われるアキアカネの人工飼育、田んぼでの羽化実験、アキアカネ&水生生物調査会、アキアカネ山上調査を行う。 *講師謝金、材料費等に使用。
18	ブルーアンドグリーンネットワーク	神戸・明石海岸の海浜植物、貝類等の生息状況調査。海岸の生きもの観察会を通じ、自然環境や生物多様性を考える学習を展開。 *調査、マップ作成資材等に活用。
19	特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	生息数が減少しているオオサンショウウオ保全に向け、朝来市で産卵環境・体確認調査、産卵巣穴での行動観察を行う。 *データロガー、監視カメラ等を購入。



1. 環境分野の助成グループ数および助成総額

		2012	2013	2014	2015	2016
助成グループ数	グループ	26	29	26	28	35
助成総額	千円	1,379	1,571	1,298	1,394	1,892

2. 2016年度の環境分野の助成グループ

	グループ名	構成員数	活動内容	活動対象
1	あそびの緑日	17	草木、実、枝等を利用した手作りおもちゃを子供達に伝承し遊ぶ	子ども
2	あんだんて	8	コープリビング甲南で高齢者対象に花と緑で園芸セラピー	高齢者
3	ウエッキーズ	22	学校、福祉施設の庭・樹木の剪定、整枝、維持管理や害虫駆除	地域住民
4	梅一つ火会	38	東灘区の花「梅」の普及活動、寄贈植樹、地域活動への参画・支援	地域住民
5	うやま花の会	30	宇山1～3丁目の市道沿いで月2回の清掃活動や沿道花壇の整備を行う	地域住民
6	かざぐるま	21	高齢者施設の和風庭園管理、施設利用者や住民と花アレンジ会を開催	高齢者
7	神付・産土の森の会	42	里山の整備、伐採した木の循環利用、環境体験会の実施	地域住民
8	グループ緑のこだま	30	地域の公園とバス停前花壇に四季花植栽・樹木剪定 木工教室開催	地域住民
9	クレセント	13	仁川デイサービスセンターの花壇に四季花植栽・維持管理	高齢者
10	コミュニティひばり環境部会	30	里山保全活動で地域住民による森林整備と自然観察会を定期的に開催	地域住民
11	Cheer Green(緑花応援隊)	13	宝塚市立山手小学校横のコミュニティスペースに四季花植栽・管理	子ども
12	名塩さくら台景観緑化クラブ	21	さくら台花の散歩道の花壇の手入れと水やり	地域住民
13	21世紀の武庫川を考える会	95	武庫川河川流域の自然環境保全と美化・清掃活動	地域住民
14	のじぎくネット	15	兵庫県の花であるノジギクを東山公園で栽培、公民館にて講座開催	地域住民
15	ハーモニー	18	宝塚市立逆瀬台小学校の花壇を地域住民と生徒と一緒に管理、クラブの指導	子ども
16	浜・川・山の自然たんけん隊	20	御前浜などで自然保護、生物多様性保全、環境・防災学習を行う	子ども
17	ひょうご花育ねっと	33	南ウッディタウン駅前ロータリーの公共花壇の植栽管理を行っている	地域住民
18	フォレスター松寿	30	六甲山麓での植樹地整備、植林、下草刈り、植樹会等を開催	地域住民
19	メリーポピンズ中山	20	高齢者施設屋上庭園の雑草除去、土壌改良、草花の植栽を実施	高齢者
20	メリーポピンズわかくさ	14	宝塚市立わかくさ保育所の花壇を園児と一緒に四季の花を植栽・維持管理	子ども
21	ゆめごてん	10	特養夢御殿山施設のペランダに花壇を設け四季の花を植栽・維持管理	病院・施設
22	ゆめひろば	10	宝塚市高司児童館の花壇に四季花を植栽、ビオトープ(池)管理	子ども
23	り・ゆーず	5	牛乳パックと和紙を利用し小物作りで高齢者やデイ通所者と交流	高齢者
24	レインボー	16	高齢者施設「晋栄福祉会 中山ちどり」の花壇造成、管理	病院・施設
25	芦屋山手Greenねっと	50	中学校正門付近・外周の草花・樹木の植栽と維持管理	青少年
26	芦屋西浜公園を楽しむ会	39	市立西浜公園に四季の花を植栽・維持管理と樹木剪定 紅葉コンサート開催	地域住民
27	伊丹環境ネットワーク	16	11グループの環境団体から構成されアースデイの開催や環境調査	地域住民
28	花・果・do	17	(財)プラザコム施設周辺に四季花と果樹植栽・維持管理	地域住民
29	共生ひろばチーム	14	伊丹駅前に隣接のポケット公園の花の植え替え、土壌改良	地域住民
30	県立がんセンターボランティア	25	県立がんセンターの庭園、花壇に四季の花を植栽・維持管理	病院・施設
31	県立西宮病院ボランティアフラワーグループ	5	病院敷地内と周辺の花壇とプランターに四季の花を植栽・維持管理	病院・施設
32	山田の里グリーンクラブ	27	親子参加の体験型環境学習、山林手入れ・里山道、棚田の整備	地域住民
33	仁川バラの会	20	宝塚市立第1中学校花壇を維持管理 PTA、地域住民対象に講座開催	青少年
34	日笠山のじぎく園	13	のじぎくの保存活動を通じて自然環境を整備し地域住民との絆を深める	地域住民
35	平谷川のホタルを守り育てる会	70	平谷川にホタルの幼虫を放流、小学校等でホタル学習を実施	子ども

エコファーム利用者の推移

年度		2012	2013	2014	2015	2016
体験農園(貸し農園)区画数	区画	360	327	300	285	260
エコファーム講座参加者数(のべ)	人	373	276	274	201	209
マイファーム(ミニ農園オーナー制)参加家族数(のべ)	家族	1,274	1,190	1,124	1,120	910
視察学習訪問者数(のべ)	人	2,401	2,565	1,912	1,517	1,994
エコファームくらぶ(ボランティア)参加者数	人	57	94	36	68	65

エコファームの(有)みずほ協同農園売上高推移

年度		2012	2013	2014	2015	2016
総売上高	千円	87,561	83,734	84,293	80,378	83,982
うち野菜売上高	千円	65,755	62,488	64,333	60,949	64,790

コープ土づくりセンターの実績

年度		2012	2013	2014	2015	2016
食品残渣回収量(原料投入量)	トン	584	507	671	575	524
堆肥生産量	トン	213	249	293	226	234

組合員の声

1. 組合員から寄せられた意見数と構成比

	2012		2013		2014		2015		2016	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	154	100	152	100	158	100	169	100	198	100
リサイクル活動	80	52	81	53	96	61	105	62	135	68
マイバッグ運動	54	35	52	34	36	23	25	15	40	20
事業面の取り組み	5	3	2	1	5	3	10	6	2	1
組合員活動全般	3	2	5	3	15	9	17	10	9	5
その他	12	8	12	8	6	4	12	7	12	6

2. 2016年度の意見の内訳

内 容		件数
合計		198
マイバッグ運動	小計	40
	大阪北運用	3
	対応	2
	有料反対	11
	レジ袋規格	7
	持参者にメリット	1
	推進希望	0
	5円高い	12
	マイバッグその他	4
リサイクル活動	小計	135
	回収有無問い合わせ	26
	回収要望	27
	トレーのシール	0
	ルール問い合わせ	22
	回収ボックス	12
	リサイクルその他	48
事業面の取り組み	小計	2
	エネルギー	2
組合員活動	小計	9
	エコファーム	9
	環境学習など	0
その他		12

コープこうべ環境保全のあゆみ

	社会の動き	コープこうべの考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み	
70年代	1971	環境庁設置					
	1972	国連人間環境会議		田舎娘粒状せっけんを開発			
	1975				空ビン回収システムを整備		
	1977			根菜類13品目のトレイ包装を廃止			
	1978			買利物袋再利用運動を開始	<ul style="list-style-type: none"> 食品容器包装フィルムを塩ビからポリエチレンに変更 全店舗の野菜・果物売り場でノートレイを実施（一部品目を除く） 		
1979	滋賀県「琵琶湖の富栄養化防止条例」公布						
80年代	1981			<ul style="list-style-type: none"> 有リン洗剤の取り扱いを中止 せっけんキャンペーンを開始 卵パックを塩ビからポリエチレンに 			
	1982		排水チェック活動を開始				
	1984				全店でボタン電池の回収を開始		
	1986			第1回琵琶湖親子見学会を実施			
	1988				タルク入りトレイ(CTFトレイ)の導入		
1989	フロン全廃宣言採択(ヘルシンキ会議)	<ul style="list-style-type: none"> 総代会で「くらしの見直し」と地球環境を守る取り組みを強める」特別決議を採択 環境問題対策会議を設置 				食品工場にコジェネシステムと排水処理・有効利用設備を導入	
90年代	1990		コープの環境月間スタート	<ul style="list-style-type: none"> 環境統一マーク商品の供給を開始 水畜産トレイ包装商品の袋包装への切り替え開始 フロンガス使用のスプレー式商品の取り扱いを中止 	牛乳パックリサイクルが本格的にスタート	<ul style="list-style-type: none"> チラシ、包装紙、コピー紙、レシートなどの再生紙化を実施 業務用コンピューター用紙などの回収を開始 	
	1991		環境問題推進室設置	買利物袋再利用運動から買利物袋持参運動に	<ul style="list-style-type: none"> フードプラン第1号商品開発 環境統一マーク商品にサブマークを導入 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料用アルミ缶、スチール缶、トレイ、ペットボトルのリサイクル開始 クリーニングコーナーのハンガー回収を開始 	
	1992	環境と開発に関する国連会議(地球サミット)開催		<ul style="list-style-type: none"> 環境測定活動スタート 公益信託「コープ環境基金」を設立 			
	1993	環境基本法成立					生産事業部がタービンで自家発電開始
	1995	容器包装リサイクル法成立	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメント・環境監査システム本格スタート 組合員の環境委員会発足 	買利物袋持参運動拡大(必要な方は1袋5円で購入いただく方式に)		リサイクル推進功労者表彰で「通産大臣賞」を受賞	店舗の生ゴミを回収し堆肥を作る実験スタート
	1996	ISO14001が発効	総代会特別決議として「環境憲章」を採択		<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫からのフロン回収を開始 通いコンテナ導入実験を開始 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル制服を採用 タルク入りトレイの再生原料を利用した買利物かご導入(~2002) 	
	1997	地球温暖化防止京都会議(COP3)開催	環境報告書が環境アクションプラン大賞(環境省長官賞)受賞		小型焼却炉取り扱い自粛	コープミニ全店で5品目回収開始	芦屋市、尼崎市、伊丹市の店舗の魚箱リサイクル開始
	1998	家電リサイクル法成立	コープ武庫之荘ISO14001取得	コープグリーンロード運動をスタート	コープラップ(塩化ビニリデン製)取り扱い中止		<ul style="list-style-type: none"> コープ土づくりセンター完成(全店舗にてゴミの計測開始) (有)みずほ協同農園発足 ディーゼル車のガソリン車への切り替え完了 地球温暖化防止活動大臣表彰(低公害車部門)
	1999		<ul style="list-style-type: none"> 総合品質管理室設置 食品工場ISO14001取得 		塩素系の食品ラップの取り扱い中止		エコファーム施設の完成

	社会の動き	コープこうべの考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み	
2000年代	2000	・循環型社会形成推進基本法が成立 ・食品リサイクル法が成立	全事業活動でISO14001取得	・虹っ子「エコチャレンジプログラム」をスタート ・マイかご、無料レンタル袋制度の導入	着物リサイクルショップ「結」スタート	協同購入の商品情報紙「めーむ」の回収をスタート	
	2001	環境庁が環境省となる	第一次環境中期計画策定			協同購入で卵パック回収をスタート	・エコファームを本格オープン ・協同購入センター加古川にLPGスタンド設置
	2002		・食品工場ISO14001更新 ・環境推進室設置	・エコファームでマイファーム、エコファームクラブ開始 ・炭素税に対する見解まとめる ・環境学習ボランティア活動開始	食の環境配慮基準策定		・本部エコワーキングスタイル運動開始 ・「第8回全国環境保全型農業推進コンクール」の大賞受賞（みずほ協同農園）
	2003		全事業でのISO14001の更新	・虹っ子エコ&フードチャレンジプログラムスタート ・コープEARTくらぶが2カ所で立ち上がる		協同購入で卵パック回収を休止	食品工場の廃棄物処理設備完成
	2004		第二次環境中期計画策定	・環境省の「地球環境美化功績賞表彰」受賞 ・電気削減運動を開始		協同購入で卵パック回収を再開	・コープこうべの自主行動計画策定 ・農林水産省の「2004年度バイオマス利活用優良表彰」でバイオマス活用協議会会長賞受賞
	2005	京都議定書発効	ISO14001の環境マネジメントシステムを食品工場と統合	エコチェックキャンペーン全地域で展開	・(有)みずほ協同農園の大根が「三木市議会議長賞」受賞 ・フードプラン管理規定の策定	協同購入・個人宅配の配送時に使用する内袋回収スタート	・食品工場のバイオマス利活用の取り組みが「ひょうごバイオマスecoモデル」第1号に認定 ・ライトダウンキャンペーン6店舗で試行
	2006		・総代会で「マイバッグ運動の推進とくらし見直しに関する」特別決議採択 ・全事業活動でのISO14001更新	レジ袋のレジ精算スタートに向け、8店舗で先行実施		協同購入・個人宅配の帳票袋回収スタート	・ライトダウンキャンペーン全店規模で実施 ・コープ土づくりセンターと子会社の(株)協同食品センターが「平成18年度ひょうごバイオマスecoモデル」に認定
	2007		第三次環境中期計画策定	・レジ袋のレジ精算、食品を扱う150店舗で実施 ・容器包装3R推進環境大臣大賞最優秀賞受賞	コープスお買い物バッグの開発		
	2008	・京都議定書第一約束期間スタート ・G8環境大臣会合が神戸で開催		・組合員から募集したエコメッセージをG8環境大臣会合に合わせて発信 ・兵庫県、西宮市と企業の森づくり協定締結			バイオディーゼル燃料の取り組みを開始
2009			コープの森・自家郷山の活動方針が「保全活動推進委員会」で決定			省エネ活動の徹底によるCO ₂ 削減の取り組みを、一部の店舗で実験的に開始	

	社会の動き	コープこうべの考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み
2010年代	2010	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知で開催		<ul style="list-style-type: none"> ・フードプラン20周年 ・地産地消推進のためコープスに兵庫県産品をアピールするロゴ“ひょうご発”を導入 ・飼料米を使った「穂の売りたまご」開発 	店舗で卵パック・透明トレイの回収スタート	<ul style="list-style-type: none"> ・コープ神吉を省エネのモデル店舗としてリニューアルオープン ・コープミニ御影北の店内照明すべてを実験的にLED化 ・省エネ活動の徹底によるCO₂削減の取り組みを全店展開
	2011	東日本大震災発生	創立90周年を迎え、大阪北生活協同組合と合併 新生コープこうべスタート。大阪北地区が加わり、7地区体制になる	電力不足問題に対して夏と冬に省エネの学習会を開催		夏場の節電対策を強め、年間を通じて全事業所で省エネルギー、CO ₂ 削減の実施
	2012		「共に生きる、未来につなげる」を基本方針として、将来のあるべきコープこうべの姿を模索する「次代コープこうべづくり」プロジェクトをスタート			住吉事務所が関西広域連合エコオフィス大賞「節電の励行部門賞」を受賞
	2013			シンポジウム「『コープの森・社家郷山』の魅力は高まったか?」開催	アルミ付紙パックの回収スタート	<ul style="list-style-type: none"> ・コープ武庫之荘が省エネ型店舗としてリニューアルオープン ・鳴尾浜配送センターで太陽光発電事業を開始
	2014		ISO14001の認証を返上し、自主運用に切り替え		<ul style="list-style-type: none"> ・子会社の㈱ゆうあいサポートで店頭回収のペットボトルのプレス作業開始 ・子会社の㈱コープ環境サービスで宅配商品カタログ「めーむ」の圧縮作業開始 	雑がみの分別回収を全店展開
	2015			<ul style="list-style-type: none"> ・第3回食と農林漁業の食育優良活動表彰「農林水産大臣賞(企業部門)」を受賞 ・「おおさか環境賞」の準大賞を受賞 ・コープの森・社家郷山が環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」(500箇所)に選定 ・みんなの牧♥里プロジェクトの取り組み開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップの回収開始 ・宅配返品商品のフードバンク関西への提供開始 	再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を開始(コープこうべの42事業所に電力供給)
	2016	<ul style="list-style-type: none"> ・電力小売全面自由化 ・熊本地震発生 				子会社の㈱コープ環境サービスで、宅配の商品配達用ポリ袋の圧縮作業を開始
2017						再生可能エネルギー電力を含む「コープでんき」を組合員に供給する電力小売事業を開始